



とよみなみ

平成25年11月29日
豊玉南小学校たより

平成25年度 12月号

「どうして勉強しなくちゃいけないの」

校長 山田 裕

「どうして勉強しなくちゃいけないの」と考えたことはありませんか。

私が子供の頃、計算プリントの宿題で、たしか万の位の大きな数の計算がたくさん出され、一間解くのに時間がかかり、いつ終わるか不安になって、勉強をやめて遊びに行こうとして母に言った言葉です。教員になって、この単元を教えるときに、ふと思い出すことがある出来事でした。

「どうして勉強しなくちゃいけないの」と子供から聞かれて、困ったことはありませんか。

戦前は「お国のため」、一昔前は「いい学校に行っていい会社に入るため」でした。人生観や幸福観が多様化した現在は「幸せになるため」「立派な社会人になるため」あるいは「好きな仕事につきたいから」など様々な考えがあると思います。しかし社会情勢が不安定になり、将来に不透明感が生じてくると「勉強する意味」も揺らいでいきます。

逆に、このような時代だからこそ、よりよい生き方を求め続ける力をつけ、豊かな人間性とたくましく生きる力をつけてほしいと願うわけです。

学校の教育課程は、自ら考え判断し行動でき、よりよく問題を解決する資質や能力、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性、健康や体育さらに食育などからたくましく生きる力を育成することを目標としています。この目標が、学校で行うすべての教科や領域などの学習や生活の目標です。「なぜ勉強するのか」の問いに対して、このような「生きる力」をつけるためと考えています。

たとえば、算数の勉強で、大きな数の計算くらいできないと一万円からおつりの計算ができなくて損するよ、と言ってしまいそうなことですが、小学校の算数の目標は、「日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てる」「算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付き、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる」(平成20年3月 小学校学習指導要領「算数」目標抜粋)ことです。つまり、ものごとに見通しをもって考える力、筋道をたてて考えたり、表現したりする力を付けることが重要なのです。台形の面積は「かっこ上底たす下底、かっこ、高さわる2」と唱えながら暗記したので今でも覚えています。人生の中で台形の面積を使ったこともなく、わからなくて困ったこともありません。ここで身につけたいことは公式の暗記ではなく、様々な方法で台形の面積を求めながら一般化できる公式があることに気づくまでの過程の中で、見通しをもって考えたり、筋道を立てて考え表現したりする力です。

たとえば音楽の目標では、「音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育て」「豊かな情操を養う」こととなっています。このことは、音楽がきっと生涯にわたり人生を豊かにしてくれるものになり、豊かな人間性の育成につながると期待するものです。

子供たちのもつ無限の可能性に、いつか自ら気付き伸ばしていくことを願っています。

12月の行事予定

2日(月)	クラブ活動	19日(木)	個人面談④	4時間授業
4日(水)	4時間授業	20日(金)	個人面談⑤	4時間授業
9日(月)	避難訓練 委員会活動	23日(月)	天皇誕生日	
10日(火)	補充教室	25日(水)	2学期前期終わりの会	
13日(金)	展覧会(1日目)		給食終	
14日(土)	展覧会(2日目) 土曜公開	26日(木)	冬季休業日始	
16日(月)	個人面談①			
17日(火)	個人面談②			
18日(水)	個人面談③	1月8日(水)	2学期前期始まりの会	
			給食始	

けじめのある生活をしよう

けじめのある生活をするには、効率よく学習することにつながります。寒くなってきましたが、一日を気持ちよく始められるよう、ご家庭でも起きる時刻や家を出る時刻にご配慮ください。
※もうすぐ冬休みです。年末年始はつつい不規則な生活に陥りやすいですが、夜遅くまで起きていることのないようお願い致します。

〈3年の窓〉

3年担任 海野 あい

2年生から3年生になると変わることがたくさんあります。習字、リコーダー、と新しい道具を使った学習が増え、保健や総合の新しい学習が始まります。そして、1、2年生での生活科がなくなり、社会と理科が新しく加わったことも大きな変化です。

新しい教科の理科と社会ではどんなことをするのだろうと新しい教科書を手にも、楽しみにしていました。理科では植物を育てたり虫の観察をするだけでなく、ひなたとひかげの様子の違いを調べたり温度計で計った温度をグラフにまとめたりすることもしています。身近にある風、太陽の光、かげ。よく知っているようで調べてみると新しい発見がたくさんありました。温度計の使い方を知ると、次の光の単元でも温度計を使って温度を比べて考える姿も見られました。新しい道具や考え方をすることで、どんどん世界が広がっています。

社会ではスーパーマーケットにでかけ、お店の工夫を探したり店長さんに質問したりしました。どんな仕事でも、相手のことを考え、いろんな努力をしていること、つまりは私たちの生活がたくさんの人に支えられて成り立っていることに気づきました。新しいことに興味津々の3年生。教室の中だけでなく、より広がった世界での学習を楽しんでいます。

〈ホームページについて〉

HP担当 佐藤 嘉朗

豊玉南小学校では、ホームページを公開しています。全校遠足や作って遊ぼう集会、演劇鑑賞教室など、普段とは違った子供たちの学習の写真が説明入りで載っています。また、毎日の給食も写真入りで定期的に更新していますので、是非ご覧ください。

PTAの活動も担当の保護者のご協力のもと、更新されていますので、活動内容やサークル活動などご覧になってみてください。

〈個人情報保護のため〉

子供たちの学習活動(土曜公開や学年集会)において、許可のないビデオ撮影や写真撮影はご遠慮ください。ビデオや写真撮影は運動会と展覧会のみでお願いします。子供たちが集中して学習に取り組めるよう、ご協力をお願いします。

※展覧会の作品には、個人名の書かれた名札が付いています。ブログに載せるなど、不特定多数へ公開することはお控えください。

◇給食費・教材費 引き落とし日

- ①12月 5日(木) ②12月16日(月)
入金をよろしくお願い申し上げます。

〈ゆめみる海 ～展覧会に向けて〉

図工専科 藤内 智子

『みてみて! これぞ 自分色の 深海美術館』、代表委員会で決めた展覧会のテーマです。

今、このテーマのもとに展覧会に向けて、図工科や家庭科で自分の作品を仕上げたり、共同制作に取り組んだりしている最中です。12月13日(金)・14日(土)、体育館が海に変わります。

子供たちは、みてみて! これぞ...という意気込みをもって、楽しく、一生懸命に活動しています。また、自分色という言葉には、その子の思いや工夫がこめられています。上手、下手というのではなく、思いっきり描いたりつくったりした作品には、個性が光っています。海の中でそんな作品たちを深く味わっていただき、お励ましいただければ幸いです。

今回、6年生が学芸員となり、展示作品の解説を致します。初めての活動でもあり、どの作品を担当するか、取材や台本作りはどうしようか...などと、当日に向け頑張っています。14日(土)の2～4時間目に行いますので、ぜひ、子供たちのギャラリートークをお聞き下さい。

また、みんなで1つのものをつくりあげたい...と共同制作に取り組みました。保護者の皆様には、ペットボトルや、空き缶の収集にご協力いただきありがとうございました。どんな風に変身しているか、お楽しみに!!